

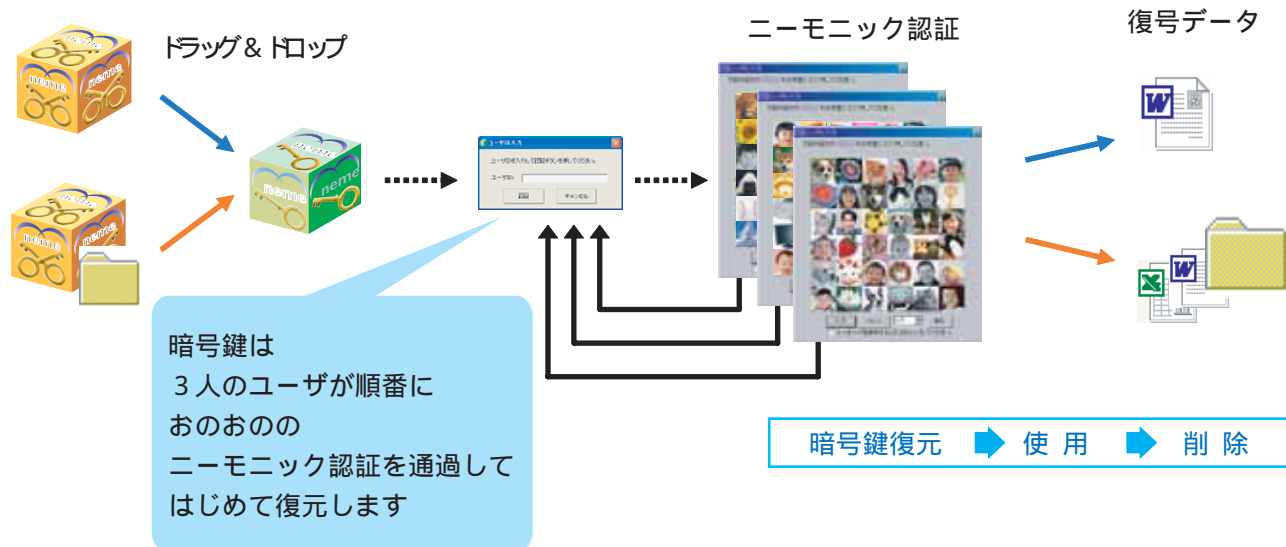
機密データの持ち出しを防止する

権限分散クリプトニーモ

WindowsXP/VISTA対応
データ暗号化ソフトウェア

常態では暗号鍵が存在せず
管理責任者も単独ではデータを平文に戻せません

保存中の暗号化データを復号して平文に戻すには

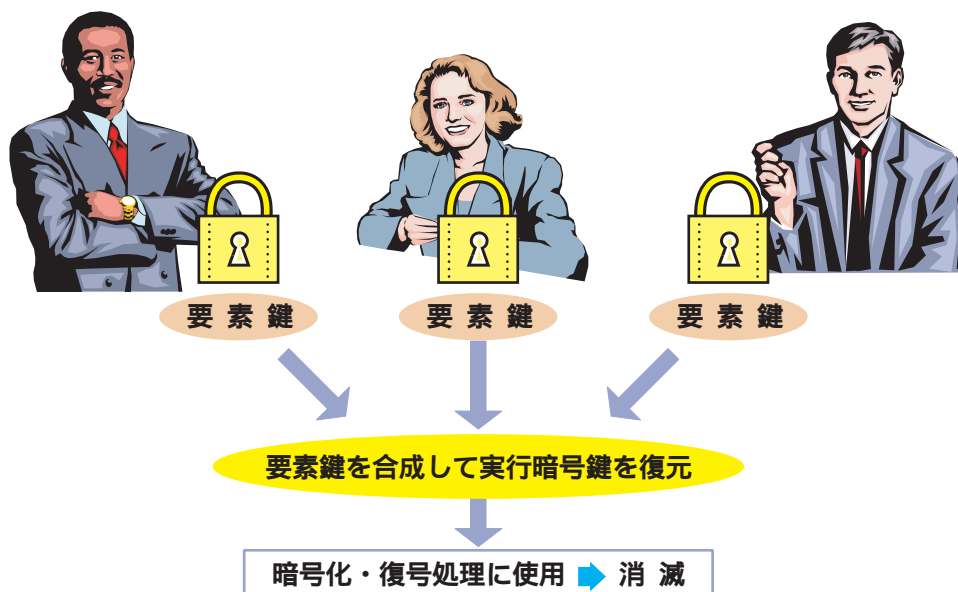


誘惑や疑惑のストレスと脅迫の怖れから機密情報の管理者を解放
しっかり人間を守り、データもしっかり守る

- 機微情報を預かる企業や官公庁などでは顧客や住民の信任に応えるために
- データ処理受託会社などでは委託者の信頼を確保するために
- その他、人事情報・財務情報・技術情報など最高企業機密の保護に最適です

権限分散クリプトニーモとは

『権限分散クリプトニーモ』は、複数のユーザの本人確認をすることで生成される要素鍵を直列に加えて暗号鍵を復元する暗号化ソフトです。単一端末型と複数端末型とがあります。



暗号化・復号終了後は実行鍵も要素鍵も全て消滅。鍵取得による復号データ流出を防止

既存のデータ暗号化システムでは、システムを設計した人、プログラムを書いた人、販売・設置サポートする人、運用している人、その上司・管理者、こうした人達は全て暗号鍵の保管場所を知っているか、あるいは簡単な努力で知りえる立場にいますが、『権限分散クリプトニーモ』ではこうした立場におかれる人達は存在しません。

複数のユーザの共同作業でのみ暗号鍵が復元

重大な情報盗難の過半は内部関係者によるものと言われます。『権限分散クリプトニーモ』はアクセス権限を有する管理者であっても3人が共同で作業しなければ暗号鍵が復元できません。高度の機密情報の保管義務を負う企業・団体・官公庁に有効な流出防止手段を提供します。標準モデルでは10人までの登録ユーザの中の任意の3人が共同でクリプトニーモを操作すると同一の実行暗号鍵が復元します。

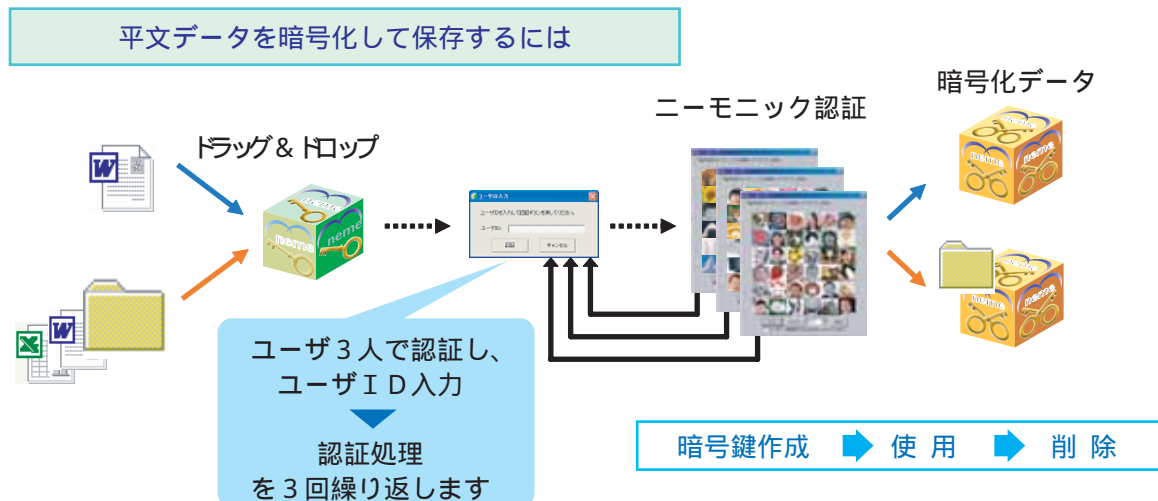
クリプトニーモとは

『クリプトニーモ』は従来の暗号ソフトの弱点（利用者認証を上回る強度は提供不可 + 鍵盗用に対する効力ゼロ）を解決した、常態では暗号鍵の存在しないデータ暗号化ソフトです。長期記憶照合で第三者による盗用・データ漏洩を防止する本人認証ソフト『ニーモニックガード』によって、本人認証と暗号鍵の動的生成を行います。画面上の写真やイラスト等のシンボルをいくつかタッチするだけで確実な利用者認証とデータ防御のための暗号鍵の生成・再生ができ、プログラム終了後には暗号鍵は完全に消滅するため、鍵盗用による情報漏洩の心配はありません。

『権限分散クリプトニーモ』の特長

要素鍵 3 組を直列して実行暗号鍵を合成

【権限分散クリプトニーモ】標準モデルでは、3人のユーザが生成する暗号鍵を要素鍵とし、3組の要素鍵を直列に加算したものを一次データとして扱います。各ユーザの要素鍵が50ビット級の場合でも合算値は150ビット級になり、一次レベルで150ビット級から256ビットの実行暗号鍵を作るので、現在のコンピュータ環境では3人のユーザが結託しない限り本製品で暗号化された機密データが解読される可能性はありません。



ユーザ登録は10人までできるので、フレキシブルな運用が可能

例えば登録ユーザ10人中の7人までもが職場・現場に来られないという極端な状況を考えてみても、3人が揃っていれば暗号化・復号の作業は支障なく可能です。

ユーザはそれぞれ1組の認証画面・認証画像（パスシンボル）を登録しておくだけ

画面上の懐かしい写真やイラスト等をいくつかタッチするだけで認証が完了する本人認証ソフト【ニーモニックガード】を使って、確実な本人認証とユーザ個々人の要素暗号鍵の生成を行います。認証画面・パスシンボルを変更しても要素鍵の同一性は保たれる構造になっています。

ログ履歴閲覧を含む全ての処理のログを取得し保存

取得・保存するログには、作業時刻、ユーザ名、暗号化あるいは復号したファイル名・フォルダー名に加えてログ履歴を閲覧したユーザ名と閲覧時刻も含まれます。

使用環境に応じた2つのモデル

権限分散クリプトニーモには1台の端末上で3人が順次認証作業を行う「単一端末モデル」と、遠隔地の3人がネット経由で認証作業に参加する「複数端末モデル」とがあります。操作員がいつも同じ職場にいるケースでは管理者の目の届くところで全ての操作を行う単一端末型を、遠隔地にいる操作員の認証参加が望ましいケースでは複数端末型をお奨めしています。

簡単な導入

全ての機能が無償で使える30日無償試用期間つきです。満了後は、ライセンスを購入すれば継続してご使用いただけます。購入されない場合、新たな暗号化はできなくなりますが、既に暗号化されたデータの復号は可能です。

